

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 丹野 宗浩、地域包括支援センター所長 佐藤 修子

### 1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画において市は「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。同計画のアンケートにおいて、幸福感を判断する重要事項として最も高かったのが「心身の健康」という結果でした。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、また、病気や障がいがあっても、その人の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持って、生涯を通じて主体的な健康づくりに取り組めるような環境を整備するとともに、市民と地域・団体・企業・行政が一丸となって互いに支え合いながら健康な地域、健康な滝沢市を目指します。

#### (2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	C
			57	58.4	58.4	-	-	38.2
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	E
			58.2	55.8	58.5	-	-	△7.1
3	暮らし 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	A
			58.1	59	83.2	-	-	397.1

#### (3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	C
			57	58.4	58.4	-	-	38.2
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	E
			58.2	55.8	58.5	-	-	△7.1
3	暮らし 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	91	A
			86	174	245	-	-	3,950.0
4	幸福 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	E
			58.2	55.8	58.5	-	-	△7.1
5	暮らし 02060300 安心し子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	A
			58.1	59	83.2	-	-	397.1



## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 丹野 宗浩、地域包括支援センター所長 佐藤 修子

## 2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>市民一人一人が「健康」に関心を持って主体的な健康づくりに取り組めるよう、各種検診の実施や健康づくりに関する情報提供を行いました。また、地域で健康づくりに取り組む機会として「地域健康づくり連絡会」を30自治会全てで開催し、健康課題の共有や地域ごとの取り組みについて話し合いました。また、健康づくり支援者の資質の向上に努め、連携を強化しました。経済的負担軽減のため特定不妊治療の助成を継続して実施しました。また難病特定医療費申請を行い、対象者の利便性向上に努めました。妊娠から出産子育ての場面で必要な支援が必要な方に届くよう、家庭訪問や乳幼児健診等を実施し、早期発見と対応に係る取り組みを関係機関と連携し行いました。「自分が心身ともに元気と感じる人の割合」は、平成28年度55.8%から平成29年度58.5%と2.7%増加しました。</p>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】受診しやすい検診、健康づくりに関わる市民の増加、妊娠出産への支援・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制強化、育児支援事業の充実</p> <p>【重点課題に対する達成状況】各種がん検診の受診率は、前立腺がん検診以外はすべて上昇しました。また各健康づくり支援者とともに、地域での健康づくりを積極的に実施し、教室の実施回数が増加しました。不妊治療の経済的負担軽減のため、特定不妊治療助成事業を継続しました。妊娠届出時や乳児訪問、乳幼児健診等を通して妊産婦や乳児の状況、育児環境等を把握し、早い段階から虐待や発育発達に課題のある児への対応等、育児支援を行いました。</p>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【成人】高齢者の増加に伴い、喫煙の危険性など虚弱な方には適さない胃がん検診受診者数が減少しています。超高齢社会を見据え、若年・壮年期からの健康づくりが重要です。また、少子高齢社会に向けて、個人の健康づくりのほかに、地域で声をかけあえる環境づくりが必要です。</p> <p>【母子】未婚や若年妊婦等、課題のある妊婦が増加傾向にあります。また、育児が世代間で伝承されにくく母子の愛着形成が十分でないまま親になり育児が困難になり支援を必要とする事例が増加しています。また、全国的に児童虐待事例が報告されており、今後も乳児訪問・乳幼児健診・予防接種の状況で課題がある家庭に対しては、関係機関と連携し早期からの適切な対応が必要です。</p>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>「誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、「心身の健康」を市民が幸福を実感するための事項として1番に挙げていることから、更なる個人の健康づくりの動機づけとなる啓発と住民協働による健康な地域づくり、また市民が進めやすい環境整備に努める必要があります。平成28年度に、総合計画の実施計画にあたる「第1次滝沢市母子保健計画」及び「第2次滝沢市地域保健計画中間評価及び後期計画」を策定しており、両計画に基づき、今後も施策の推進を行ってまいります。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>少子高齢社会に向けて、健康寿命の延伸を目標に、個人ばかりでなく家族・地域ぐるみでの健康づくりをめざし取り組みを進め、継続していくことが重要です。特に、検診受診や運動・食生活等の生活習慣の改善等、個々の主体的な健康づくりの取り組みの更なる推進が必要です。また、母子の課題の多様化・複雑化へ対応するため、切れ目ない支援体制を構築していく必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <p>平成30年度は「健康づくり宣言」を予定しており、市民と地域・団体・企業・行政が一丸となって健康づくりを進めます。また、平成30年度設置の「子育て世代包括支援センター」については、円滑な運営に向けて関係課と体制整備を図ります。</p>	

